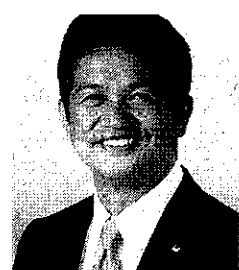


令和3年度 茨城県表彰受賞者一覧

表彰式が、11月12日(金)に県庁で行われました。今年度は、各分野で活躍された53人の方々と12団体が表彰されました。

賞	氏名・団体名	住所	主たる功績・功勞	功績の分野
県民栄誉賞表彰	永瀬 貴規	つくば市	東京2020オリンピック 柔道男子81kg級金メダル獲得	スポーツの振興
特別功勞賞表彰	宮島 達男	守谷市	現代美術家、令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞、国際美術展「ヴェネチア・ビエンナーレ」参加、展覧「クロニクル1995-2020」開催等	教育・文化の向上
	梶原 悠太	筑波大学大学院	東京2020オリンピック 自転車トラック女子オムニウム銀メダル獲得	スポーツの振興
	高良 彩花	つくば市	日本陸上競技選手権大会女子走り幅跳び3回優勝、第23回アジア陸上競技選手権大会銀メダル獲得	スポーツの振興
	高橋 利恵子	つくば市	東京2020パラリンピック ゴールボール女子銅メダル獲得	スポーツの振興
	野口 啓代	龍ケ崎出身	東京2020オリンピック スポーツクラシック女子複合銅メダル獲得	スポーツの振興
知事奨励賞表彰	TRILL DYNASTY	北茨城市	音楽プロデューサー、Billboard Top R&B/Hip-Hop Albumsチャート1位獲得(日本人初)	教育・文化の向上
	上田 綺世	水戸市出身	東京2020オリンピック サッカー男子4位入賞	スポーツの振興
	落合 知也	元土浦市在住	東京2020オリンピック バスケットボール3×3男子6位入賞	スポーツの振興
	財満 いずみ	つくば市	東京2020パラリンピック 車いすバスケットボール女子6位入賞	スポーツの振興
	佐々木 ロベルト	牛久市	東京2020パラリンピック 5人制サッカー5位入賞	スポーツの振興
	瀬立 モニカ	筑波大学所属	東京2020パラリンピック 女子カヤックシングルKL1 7位入賞	スポーツの振興
	尾澤 朋美	つくば市出身	東京2020パラリンピック 陸上女子走り幅跳び(T63)4位入賞、女子100m(T63)8位入賞	スポーツの振興
	中山 雄太	龍ケ崎出身	東京2020オリンピック サッカー男子4位入賞	スポーツの振興
	藤井 美穂	水戸市出身	東京2020パラリンピック 自転車女子500mタイムトライアルC1-3 7位入賞	スポーツの振興
	星野 陸也	笠間市	令和3年関西オープン優勝、令和3年アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップダイヤモンドカップ優勝等	スポーツの振興
功績者表彰(個人)	町田 浩樹	つくば市出身	東京2020オリンピック サッカー男子4位入賞	スポーツの振興
	松崎 賢士郎	つくば市	第68回全日本剣道選手権大会優勝	スポーツの振興
	皆川 鉄雄	水戸市	東京2020パラリンピック シッティングバレーボール男子8位入賞	スポーツの振興
	秋山 勝広	石岡市	(一社)茨城県環境保全協会理事長、(一社)日本環境保全協会理事	生活環境の保全
	加藤 秀男	取手市	城里町消防団副団長、元城里町常北消防団副団長、元常北消防団副団長	生活環境の保全
	廣瀬 尚武	取手市	国際交流活動	生活環境の保全
	遷田 和夫	行方市	(公財)茨城県消防協会副会長	生活環境の保全
	北條 勝彦	水戸市	環境省環境カウンセラー、茨城県環境アドバイザー、元NPO法人茨城県環境カウンセラー協会理事長	生活環境の保全
	佐藤 尚男	栃木県小山市	元茨城県理学療法士会副会長	社会福祉の増進
	清水 敏孝	結城市	元茨城県保育協議会会長、元茨城県民間保育協議会会長	社会福祉の増進
功績者表彰(団体)	曾根田 隆光	石岡市	民生委員児童委員、元人権擁護委員、元石岡市第4地区民生委員児童委員協議会委員長	社会福祉の増進
	小豆畑 節夫	那珂市	介護老人保健施設ライブリーライフ那珂施設長、元医療法人社団青燈会理事長、元小豆畑病院院長	保健衛生の向上
	猪瀬 道雄	古河市	学校薬剤師	保健衛生の向上
	遠藤 宏	坂東市	(公社)茨城県食品衛生協会常務理事	産業の振興
	永田 道子	水戸市	小児科医、元日本赤十字社茨城県支部乳児院院長、元水戸赤十字病院副院長	保健衛生の向上
	平間 敬文	下妻市	元(一社)茨城県医師会常任理事	保健衛生の向上
	青木 安治	結城市	元茨城県施設園芸研究会会長	産業の振興
	朝倉 実行	小美玉市	茨城県酪農協同組合連合会代表理事会長	産業の振興
	網代 秀雄	ひたちなか市	左官職人、元茨城県左官工業連合会ひたちなか支部長、網代左官工業組合役員	産業の振興
	石津 健光	神栖市	茨城県中小企業団体中央会副会長、(一社)茨城県建設業協会会長、石津建材代表取締役	産業の振興

賞	氏名・団体名	住所	主たる功績・功勞	功績の分野
功績者表彰(個人)	宇野 幹夫	常陸太田市	元(一社)茨城県労働者福祉協議会理事、元日本労働組合総連合会茨城県連合会副会長	産業の振興
	鈴木 一男	五霞町	(例)シャリー代表取締役、元茨城県農業経営士	産業の振興
	高木 安四郎	神栖市	茨城県水産加工業協同組合連合会代表理事会長、茨城県水産物開発普及協会会長	産業の振興
	高杉 則行	大子町	茨城県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長、久慈川漁業協同組合代表理事会長	産業の振興
	羽沢 信作	日立市	元茨城県職業能力開発協会会長、元中央職業能力開発協会参議	産業の振興
	宮本 洋治	日立市	元茨城県電気機械工業協同組合連合会会長、元茨城県中小企業団体中央会理事、(例)宮本製作所代表取締役	産業の振興
	飯田 眞江	龍ケ崎市	龍ケ崎市青少年相談員	教育・文化の向上
	鈴木 康之	水戸市	茨城県私学協会会長、(公社)茨城県私学教育振興会理事、水戸女子高等学校校長	教育・文化の向上
	豊田 正夫	日立市	茨城文化団体連合理事、映像茨城協会会長	教育・文化の向上
	黒田 幹也	水戸市	茨城県スケート連盟副会長	スポーツの振興
功績者表彰(団体)	渡辺 正三	那珂市	茨城県剣道連盟副会長	スポーツの振興
	大野 文雄	龍ケ崎市	元(一財)茨城県交通安全協会副会長	治安の維持
	篠崎 勝	五霞町	元境地区少年指導委員連絡会会長、元少年指導委員	治安の維持
	藤咲 テル子	ひたちなか市	ひたちなか地区交通安全協会副会長	治安の維持
	国際交流ボランティアネットワークさくら	日立市	地域に根差した国際交流事業、県内全域の国際化・多文化共生推進	生活環境の保全
	尺丈山「百樹の森」づくりボランティア協議会	常陸大宮市	尺丈山麓の「百樹の森」森林整備・管理	生活環境の保全
	(公社)茨城県歯科技工士会	水戸市	歯科技工技術の進歩発展、義歯刻名事業	社会福祉の増進
	神栖市食生活改善推進員協議会	神栖市	食生活改善と健康増進	保健衛生の向上
	農事組合法人 奥久慈しゃも生産組合	大子町	奥久慈しゃも生産拡大・PR活動、地産地消として全国初のGI登録	産業の振興
	常陸農業協同組合 奥久慈枝物部会	常陸大宮市	枝物の生産拡大と産地確立	産業の振興
功績者表彰(個人)	長久保赤水顕彰会	高萩市	長久保赤水(江戸時代の地理学者)の功績の伝承・顕彰活動	教育・文化の向上
	ひたち生き生き百年塾推進本部	日立市	市民の生涯学習活動によるひとづくり、まちづくり	教育・文化の向上
	取手地区交通安全母の会連合会	取手市	交通安全思想の普及と交通道徳の高揚	治安の維持
	井出 義子	守谷市	臨床検査技師、(公社)茨城県臨床検査技師会理事、龍ケ崎済生会病院科長補佐	保健衛生の向上
	鶴田 輝夫	笠間市	花き農家、元茨城県青年農業者、笠間地域就農支援協議会就農支援アドバイザー	産業の振興
	本間 健司	常陸大宮市	漆芸家、木漆匠空居代表、国際漆展・石川2020大賞(最高賞)受賞、奥久慈漆産産組合幹事	産業の振興
	(一社)Burano	古河市	重度障がい児預かりサービスとその母親の就労支援	社会福祉の増進
	茨城県北ロングトレイル協力隊	水戸市	茨城県北ロングトレイルコース整備による事業協力	産業の振興
	かすみがうら未来づくりカンパニー	かすみがうら市	地域資源を活用したレストラン 古民家、サイクリングプログラム等の運営	産業の振興



県民の日に寄せて

茨城県知事 大井川 和彦

はじめに、新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。本県の新型コロナウイルスの感染状況は、県民の皆さまをはじめ、事業者や医療従事者の皆さまなどのご協力により落ち着きを見せております。県民の皆さまには、これまでのご協力に感謝を申し上げるとともに、感染再拡大を防ぐため、引き続き、マスクの着用や手洗いなど、基本的な感染症対策の継続にご協力をお願いします。さて、11月13日の「県民の日」は、県民の皆さまが郷土茨城についての理解と関心を深め、より豊かな生活と県の発展を願う日として、1968(昭和43)年に定められました。

本県の歴史を振り返ると、茨城県は、1871(明治4)年7月の廃藩置県後、同年11月の府県の統廃合により初めて誕生し、その後、新治県・印旛県との統廃合を経て、1875(明治8)年5月に、ほぼ現在の形となりました。

海・山・大地に囲まれた豊かな自然環境、その中ではぐくまれた多彩で豊富な食材、歴史や文化に富んだ多様で特色ある地域の魅力などを活かし、学術研究機関の集積や陸・海・空の広域交通ネットワークなど、社会資本の充実を図りながら、これまで歩みを進めてきました。

そして、本年、茨城県は、誕生してから150年の節目の年を迎えました。時代は今、気候変動問題やAIの進歩による社会構造の変化、さらには人口減少など、これまでとは全く環境が異なる、予測できない「非連続の時代」を迎えています。先人たちが積み重ねてきた歴史や偉業に感謝しながらも、「新しい茨城」づくりを進めていかなければなりません。

現在、県では、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」という3つの基本姿勢を徹底し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて取り組んでいるところですが、今後も、県民の皆さまと力を合わせて、新型コロナウイルス感染症の早期克服に全力で取り組むとともに、デジタル化やカーボンニュートラルなどの新たな課題にも積極的に挑戦し、「新しい茨城」づくりを加速したいと考えています。

茨城に住みたい、住み続けたい人が大いに増える「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を目指し、引き続き全力を尽くしてまいりますので、県民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

西暦	元号	茨城県の主なできごと
1871年	明治4年	県の統廃合により、茨城県・新治県・印旛県が誕生
1872年	5年	茨城県庁を弘道館に開設
1873年	6年	水戸に県下初の公立小学校開設
1875年	8年	茨城県、新治県などが合併し、現在の茨城県が誕生
1878年	11年	郡長を任命し、郡役所を設置
1879年	12年	第1回県議員選挙が行われ、県会が開設
1880年	13年	県下初の中学校開設(現在の水戸第一高等学校)
1882年	15年	最初の県庁舎が建てられる
1885年	18年	日本鉄道東北線、大宮―宇都宮間が開通。古河駅設置
1888年	21年	県の人口100万人突破
1889年	22年	水戸に市制施行。町村合併により1市4町335村となる
1893年	26年	水戸―東京間(小山経由)電信線開通
1894年	27年	県会議事堂が完成
1895年	28年	県会初の解散
1905年	38年	日立鉱山開業
1906年	39年	「大日本史」全397巻が完成
1907年	40年	水戸に電灯がともる
1907年	40年	水戸市・結城町・古河町・下館町に電話開通
1914年	47年	日立鉱山の大火災発生、翌年閉鎖
1926年	59年	郡長及び郡役所を廃止
1928年	61年	県下初のメーデー開催
1930年	63年	北相馬郡の大利根橋開通
1930年	63年	県庁舎竣工(旧本庁舎・現三の丸庁舎)
1930年	63年	県の人口200万人突破
1947年	72年	初の県知事選挙、戦後初の県議会議員選挙
1951年	76年	地方自治法施行後初の第1回県議会定例会開催
1954年	79年	水戸・日立・土浦・古河各市の小学校で完全給食実施
1957年	82年	県警察本部発足
1957年	82年	日本初の原子の火がともる。国内1号炉となる
1958年	83年	市町村合併により、県下92市町村(16市39町37村)となる
1962年	87年	日立港の原子の火がともる。国内1号炉となる
1963年	88年	「茨城県民の歌」制定
1966年	91年	県民文化センター竣工
1968年	93年	日立港、貿易港となる
1968年	93年	県民の日を定める条例公布
1969年	94年	鹿島港開港
1971年	96年	茨城県誕生100年記念県民の日大会開催
1973年	98年	高萩炭礦形跡産業所閉鎖し、常磐炭田が終息する
1974年	99年	米軍水戸対地爆撃機基地返還
1981年	56年	県立歴史館開館
1985年	60年	大洗・苫小牧・室蘭間のカーフェリー就航
1987年	62年	科学万博つくば'85開幕
1988年	63年	県立カシマサッカースタジアムリニューアルオープン
1988年	63年	常磐自動車道、佐原香取―潮来間開通
1991年	66年	常磐自動車道、水戸―常陸大宮間開通
1993年	68年	県立近代美術館開館
1993年	68年	国営ひたち海浜公園一部開園
1994年	69年	県立カシマサッカースタジアム竣工
1994年	69年	産神大吊橋完成
1995年	70年	県立カシマサッカースタジアム竣工
1997年	72年	北浦大橋開通
1998年	73年	第6回世界湖沼会議、茨城県水産部主催
1998年	73年	県立カシマサッカースタジアムリニューアルオープン
1998年	73年	常陸那珂港供用開始
1999年	74年	新県庁舎竣工
1999年	74年	常陸那珂港供用開始
2000年	75年	県立カシマサッカースタジアムリニューアルオープン
2000年	75年	県立カシマサッカースタジアムリニューアルオープン
2001年	76年	県立カシマサッカースタジアムリニューアルオープン
2002年	77年	県立カシマサッカースタジアムリニューアルオープン
2005年	80年	つくばエクスプレス開業
2006年	81年	平成の大合併により44市町村(32市10町2村)となる
2006年	81年	茨城空港開港
2007年	82年	東日本大震災発生
2008年	83年	北関東自動車道全線開通
2008年	83年	いばキラTV開局
2009年	84年	G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催
2010年	85年	首都圏中央連絡自動車道(圏央道)、茨城県区間が全線開通
2011年	86年	G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合開催
2012年	87年	第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体2019)開催
2013年	88年	つくば龍ヶ浦りんりんロードが、ナショナルサイクルートに認定
2014年	89年	新型コロナウイルス感染症の拡大により、初の緊急事態宣言(茨城カンマスタジアム)
2015年	90年	東京2020オリンピックサッカー競技開催

茨城県の歴史